



日本学術会議公開ワークショップ

Future Earth と学校教育： Co-design/Co-production をどう実践するか

平成 29 年 1 月 23 日(月) 14 時～17 時 00 分

主 催 日本学術会議フューチャー・アースの推進に関する委員会持続可能な発展のための教育と人材育成の推進分科会

場 所 日本学術会議大会議室(東京都港区六本木 7-22-34, 地下鉄千代田線乃木坂駅青山霊園出口)

申 込 事前の申込は不要です。会場に直接おいでください。参加費は無料です。

持続可能な社会を目指す国際プログラム Future Earth では、科学と社会の協働による Co-design, Co-production の推進が強く求められています。その Future Earth の理念を具体化する学校教育はどのように進めればよいのでしょうか。本公開ワークショップでは、6 名の講師の報告をもとにさまざまな可能性について議論を深めます。中学生以上ならどなたでも参加し、発言することができます。

プログラム

総合司会：宮寺 晃夫 (日本学術会議連携会員、筑波大学名誉教授)

- 14:00～14:05 開会の挨拶、趣旨説明
氷見山幸夫 (日本学術会議第三部会員、北海道教育大学名誉教授)
- 14:05～14:20 海の学びと学校教育
日置 光久 (日本学術会議特任連携会員、東京大学海洋教育促進研究センター特任教授)
- 14:20～14:35 食の問題と学校教育
小金澤孝昭 (日本学術会議特任連携会員、宮城教育大学教育学部教授)
- 14:35～14:50 資源・エネルギー問題と学校教育
田路 和幸 (日本学術会議特任連携会員、東北大学大学院環境科学研究科教授)
- 14:50～15:05 環境の改善や保全と学校教育
田中 邦明 (日本学術会議特任連携会員、北海道教育大学教育学部函館校教授)
- 15:05～15:20 Think globally, act locally: 海洋マイクロプラスチック問題をもとにして
小松 輝久 (日本学術会議特任連携会員、東京大学大気海洋研究所准教授)
- 15:20～15:35 教育現場から見た Future Earth
大谷 誠一 (平塚市立金目中学校総括教諭)
- 15:35～15:45 休憩
- 15:45～16:55 ディスカッション
司会：山口しのぶ (日本学術会議連携会員、東京工業大学学術国際情報センター教授)
- 16:55～17:00 閉会挨拶
花木 啓祐 (日本学術会議副会長・第三部会員、東京大学大学院工学系研究科教授)



日置 光久

小金澤孝昭

田路 和幸

田中 邦明

小松 輝久

大谷 誠一

問い合わせ先：氷見山幸夫 北海道教育大学名誉教授
E-mail: himiyamay@kkd.biglobe.ne.jp